

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 904

2024 年 7 月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

土木関係の要求相次ぎ実現

国道412号線から若柳の正覚寺に登る道路は私道ですが、通学路や近隣のみなさんの生活道路として、また郵便配達や宅急便配送など、「準公道的」に利用されています。

しかし、道幅が狭く、片側が沢（川）になっており、その段差は高い所で2メートル程もあり、冬になると道路が凍結することもなく、非常に危険な状態でしたので、沢の側にガードレールを設置してほしいという要望をしていました。

私道ですので実現はなかなか難しいのではないかと思います。設置しましたが、このほど立派な柵が

もう一箇所は北相中学校の信号の所から中央高速道路へ向かう途中のガードレールの補修です。2019年の台風による土砂崩れで大きく歪んだままになっていたので取り替えて、駅に向かう階段の手摺りの補修を要求していました。手摺りの補修はまだですが、ガードレールの取り替えはやつと実現しました。

(写真③④)

その他つつじヶ丘団地内の側溝の蓋のゆるみから発する騒音対策や内郷駐在所前の道路の振動対策など、十八の要求項目のうち7つの要求が実現しています。

今年も土木

関係だけでなく、みなさん方からの様々な要求をとりまとめ関係機関に実現を要請して行きたいと考えています。ぜひ要求やご意見をお寄せ下さい。



写真②安全対策後



写真①安全対策前



写真③補修前



写真④補修後

自然観察シリーズ

NO. 572

山

津久井の低山⑫
陣馬山(陣場山)

八五五M 昔は八五七・六M

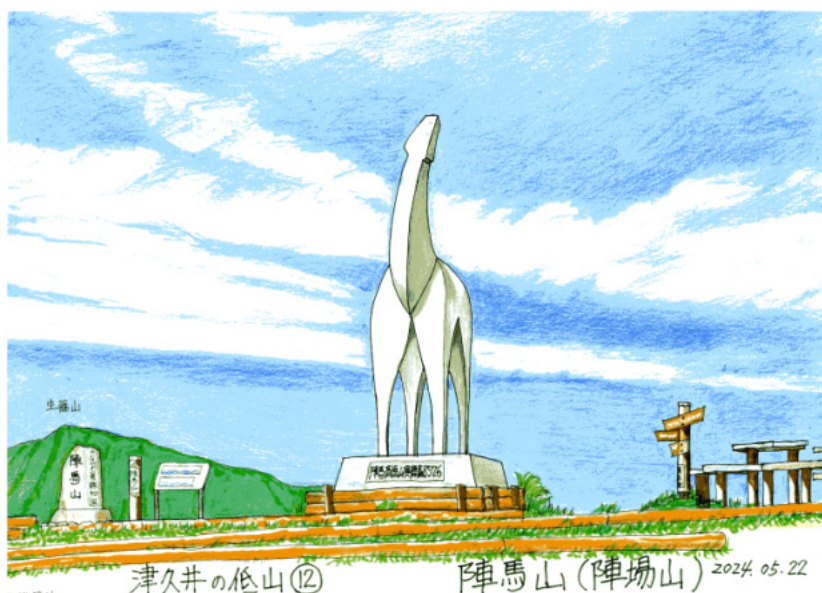
津久井の低山で昔から登山好きの人に有名なのは、何と云っても陣馬山ではないでしょう

と見たのを覚えています。そして日本の中心の東京がわりと佐野川から近いんだなと感動して眺めた事を忘れません。現在の天皇が5歳の時登ってこられた

うか。

私は旧藤野町佐野川地区に生まれ育ちました。ここは神奈川県で最北端の地で背後に生藤山、前方左手に陣馬山があり、山の中で平地がほとんど無い空の狭い所だった為、山の向こうの世界を知りたいと思っていました。私の家の庭から陣馬山の山頂部の茶店が見え、時々望遠鏡でのぞいていました。春の連休や秋の紅葉の頃は山頂部が白く見える程のハイカーでにぎわっているのが解りました。

小学校の一、二年生の頃だったか、遠足で登った山頂から広い空と、東京方面の関東平野と、完成したばかりの東京タワーを先生に教えられて見た時、ポツン



時、週刊誌の写真に佐野川の子供達も写っていた事や、中学校では当時はいっぱい捨てられていたジュースの空缶を皆で潰して袋に詰めて持ち降ろして、廃品業者に売って図書の資金にした事など、たくさん思い出があります。

その後、山が大好きになり、陣馬山から見える山は全部登るという計画をたて、ほとんど全部の峰々の山頂に立ちました。陣馬山は戦国時代の時、武田軍が陣を張って、滝山城を攻めたので、陣場山と書くのが正しいとも云いますが、昭和四十四年に京王電鉄が山頂に白馬の像を建てたので、その後は陣馬山と書くのが普通になりました。景信山から陣馬山一帯が草原状だったので、陣馬高原として観光キャンペーンで売り出したのです。その数年後には和田林道が完成して、八王子へ車でぬけられるようになり、当時は画期的な事でした。

